中札内より元気いっぱい

北海道中札内高等養護学校　校長室より

第３９号

令和5年3月27日（月）

令和４年度　１年ありがとうございました

24日、無事修了式が行われ、１年生と２年生の代表者に修了証書が手渡されました。

１年の最後の一日、校長から生徒たちに向けて

〇１年間の自分の変化・成長を振り返ってほしいこと

〇毎日続けることの偉大さ（登校、授業、友達との時間）

〇春休みに自然に触れる時間を作り、心を整えること

という話をしました。

修了式と離任式が行われました

年度末年度初めは、大きく変化する休みです。

環境の変化に敏感な人にとっては、不安や心細さを感じることも多い季節です。そんな時にこそ、食事や睡眠を規則正しくとっていくことが何よりも心を整えるためには必要です。

生徒たちには、適度な友達との時間もとれているといいな、と思います。話をしたり、遊んだりする時間の中で、新学期の元気を補給できることもあるかもしれないと思います。

また、生徒たちには、「十勝や日高など、道東の春を感じると心が整う」と話しました。何気なく見ていた山や海や川、そして空を見上げてみると、春を知らせる自然のエネルギーを感じます。今日、空を白鳥の群れが飛ぶのを見ました。「春が来た！」と動き出している渡り鳥も、私たちの気持ちを高揚させるものかもしれません。

4月始業式に元気に登校してきた生徒たちを、いつも通り元気に迎えられるよう私たち教職員も健康に気を付けてお過ごし、４月元気にスタートしたいと思います。

地域の皆様、１年間、本当にありがとうございました。４月からもどうぞよろしくお願いいたします。

技を引き継ぐ生徒たち

窯業科で、技を引き継ぐ生徒を見つけました。菊皿の形を整えるためには、微妙な力加減が必要なのだとか。3年生が卒業してその技術を引き継げるよう頑張っていました。生徒のよさや長所に着目した実態把握からの役割分担。素晴らしいなーと思いました。

毎日続けることで定着する

２年生の教室の朝の会。日付と天気、気温や湿度などをカレンダーや温度計を見て日直が記入して発表していました。

毎日の朝の会で、日付はもちろんですが、気温や湿度などを確認することで、身体に感じる湿気や製品の質への影響など意識することにつながるのだと思いました。覚えたことが断片的になりがちな人にとって、日常の生活につなげながら学ぶこの指導は特別支援学校ならでは。日常生活の指導としての朝の HR の中には、「国語」「数学」「理科」などの要素が毎日詰め込まれています。